

Be a gift to the world

世界への
プレゼントになろう

2015-16 年度 国際ロータリーのテーマ

Weekly

尾張旭 ロータリークラブ

・会 長 古橋エツ子 ・幹 事 森井 晴生 ・クラブ会報 桜井 雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail: jimmu@owariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org

本 日 第2167回 2015年9月18日(金) No. 2052

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング 「四つのテスト」

卓話担当者:古橋 裕志君

卓話者:花園大学 準教授 片山 由美 様

**演題:「家庭内のヒヤリ・ハットからの
事故防止を考える」**

前 回 第2166回 2015年9月11日(金) 記 録

○齊 唱:「我等の生業」

○ゲスト:2015学年度 米山奨学生

サギアンポンパーニット ナティニーさん

出席者:会員21名中16名出席 出席率76.19%

前々回補正出席率 8月28日分95.23%

会長あいさつ 古橋エツ子



団塊の世代が75歳になる頃の介護、とくに「認知症の増加」に対する介護が問題となっています。それは身体介護より認知症の方が、多くの問題をはらんでいるからです。新聞で

も話題となった認知症の夫が列車の線路内に入って事故を起こした事件では、妻に対して約720万円の損害賠償を請求しています。その根拠は2つあります。1つは、妻は93歳の夫を見守る民法上の看護義務があることです。2つには、精神保健福祉法の「判断能力のない人を看護する保護者として後見人が決まっていなかった場合は、配偶者が担う」という規定です。そのため、裁判所は精神障害者が起こした事件への損害賠償を家族に請求できると判断していました。しか

し、妻自身が要介護1であることや、精神保健福祉法が改正されてこの規定は見直されましたから、現在、双方から最高裁判所に上告中です。

一方、身体介護についても問題があります。大学院生の外書購読で「隠れた患者」(Hidden Patient)という論文を訳していた時に、小学校に通っている子どもが友だちに暴言や暴力をふるうようになったことから、母親が隠れた患者であったことが分かりました。それは、子どもの暴言などは、父親の介護をしていた母親が疲れとストレスから子どもたちに辛くあたっていたことが原因だったからです。しかも、介護疲労から患者といわれるほどの病気となっていたため、介護が必要な人への配慮とともに介護人の多くが隠れた患者となっている点への問題とその対策が指摘されていました。私は、93歳の母の介護が始まりましたから、隠れた患者にならないよう気を付けたいと思います。

幹事報告

・9/4 第6回理事役員会 於商工会館 加藤清久副会長以下10名出席

・9/5 尾張旭市子ども会連絡協議会 スポーツ大会 於南グランド 加藤清久副会長、井田青少年委員長出席。

基本的教育と識字率向上・O F D Y月間

	9月26日(土)	10月 2日(金)	10月 9日(金)	10月10日(土)
例 会 予 定	25日(金)振替 月見例会 於良福寺 書院	卓話担当者: 朱宮新治ガバナー 補佐(犬山RC) 卓話者: 〃 演題: 「ガバナー補佐事前訪問に因んで」	卓話担当者: 丹羽 敏行君 卓話者: 〃 演題: 「米山記念月間に因んで」	16日(金)振替 尾張旭市民祭協賛 苗木無料配布 於スカイワードあさひ イベント広場南

・9/6 第5期RLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）2760分科会研修 於星城大学リハビリテーション学院 山田直樹会長エレクト出席

・9/10 地区クラブ米山委員長会議・米山奨学生学友会総会 於キャッスルプラザ 古橋エツ子会長、山田直樹地区副委員長出席

・本日の会合：なし

・次回の会合：第3回OFDY委員会
45周年実行委員会

・例会変更のお知らせ：掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○本日は卓話をさせていただきます。

舟橋 龍秀君

○舟橋さんの卓話を楽しみにしています。

古橋エツ子君

○お株をとられました。舟橋君の卓話を楽しみにしています。

箕輪 良孝君

○米山奨学生 サギアンポンパーニット ナティニーさん、ようこそおいでいただきました。

飯田 幸雄君、菊田 利昭君

桜井 雅博君、高島 昇君

○また大変な災害がおきました。無事の有難さを痛感します。初孫が生まれ、今日、明日と会いに行ってきます。

森井 晴生君

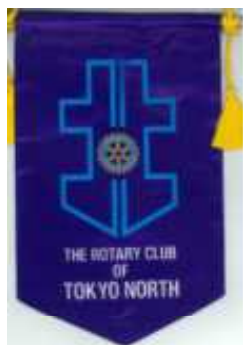
○本日はお待たせしました、好評のカレーライスです。存分にお召し上がり下さい。

西尾 輝久君

○久々のカレーライスにバンザイ！

江尻 豪君

バナー交換



2015年7月28日
RID2750地区

東京北RC
舟橋 龍秀 君

卓 話

「仏像鑑賞の楽しみ」

舟橋 龍秀



私が最初に仏像に関心を持ったのは今から40年近く前のことです。その頃、私は医師

免許を取得して、大阪赤十字病院の精神科で研修を受けること

となりました。その指導医である部長先生が仏像に造詣が深く、赴任して間もないある休日に、「奈良に仏像を見に行かないか」と誘われました。とくにすることもなかったのでしょう、ちょっとした観光旅行のつもりで連れて行って頂くことにしました。すると、思いもかけず、朝7時くらいに天王寺駅で待ち合わせということになり、「そんなに早く行くのか」と少し後悔しました。しかし、唐招提寺だったと思いますが、開門直後で人気もなく、ゆっくりと仏像を鑑賞することができました。それ以来、仏像を見ることが好きになり、大阪にいる間は、暇ができると奈良や京都のお寺を訪ねていました。最初は、ただ見ているだけでしたが、仏像に関する本を読むようになると、仏像の歴史や特徴が少しずつ分かるようになり、そうすると、ますます仏像を見ることが好きになってきました。

2年間の研修を終えて、名古屋に戻ってからはなかなか奈良や京都に行く時間がありませんでしたので、しばらくは仏像鑑賞から遠ざかっていました。そのうち結婚することになり、たまたま家内の実家が臨済宗の禅寺だったこともあり、仏教のことを少しは知っておこうと思い、本を読んでいるうちに、また仏像に対する興味関心が蘇ってきました。それから、また、時間を作って奈良や京都を訪れたり、学会でいろいろな所に出掛けた折には、その土地のお寺にある仏像を調べて訪ねたりするということをしてきました。

そうした中で、奈良は仏像の宝庫で、同じ仏像を何度訪ねても、その都度感動します。それ以外では、福井県の小浜や信州の塩田平（ここは信州の鎌倉と言われています）などの地方都市に優れた仏像があります。また、琵琶湖の東には、鄙びたお寺やお堂に、その土地の人々が代々守り続けてきた素朴ですが美しい十一面観音菩薩がたくさんあります。井上靖の「星と祭」という小説がありますが、それには、湖東地方の十一面観音菩薩のことが詳しく書いてあります。

こうして、仏像鑑賞のためにお寺を訪れていたのですが、自分でも意識しないままに、仏像に向かって自然に手を合わせている自分に気が付くようになりました。これは信仰心とも少し違うように思うのですが、仏像が発するオーラのようなものを感得しているのでしょうか。そのあたりはよくわかりませんが、私にとって、仏像は、鑑賞の対象でもあると同時に、祈りの対象になりつつあるようです。

